

③ コミュニケーション関係学グループ運営委員会

本委員会は、委員構成に時間がかかり20年12月に1回目を開催し、コミュニケーション関係学における学士力を検討した。初回であったことから、本協会が学士力を検討するに至った経緯、文部科学省の審議動向、高等教育の質保証に対する政府の取組みなど共通理解に大半の時間をかけた。その上で、コミュニケーション関係学は、マスコミ論や社会学、異文化コミュニケーション等を包含しており、学士力としてまとめるには総花的な表現にならないよう注意が必要とした。なお、学士力の検討には、社会人の専門家（例えば、対人コミュニケーションの分野では企業の人事部長、メディアコミュニケーションではマスコミや民放連関係者など）の意見を参考にすることを確認した。